NIE実践報告

1．タイトル：新聞記事を活用した道徳

2．学校名

埼玉県さいたま市立与野西中学校

3．実践者名（代表者名）

栗原正幸

4．学年

第２学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　３８人

6．単元（本時の学習課題）名

「ともに支え合う」

7．目標（狙い）

ともに支え合うことの大切さを自覚し、社会への奉仕を進んで実践しようとする態度を育てる。

8．評価の視点

実際にあった奉仕活動から、支え合いの気持ちを育み、自分ならどうするかを考えられたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「震災の中で」（副読本：「明日をひらく」東京書籍）２時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①副読本「明日をひらく」を読む。
②班で震災に関する新聞記事を切り抜きする。
③②の中から、震災後の奉仕活動の記事を探し出す。（１時間）
④いろいろ集めた情報から、自分ならこのような奉仕をする（したい）をワークシートに記入し、発表する。（１時間）

（留意点）
・奉仕活動という言葉を限定的にとらえさせないようにする。
・生徒の選んだ奉仕活動の内容が重複しないように新聞記事の配布を配慮する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

読むのが苦手な生徒も切り抜きをしながら記事に目を通していた。新聞記事には、身近なものから大規模な奉仕活動まで様々な種類が紹介されており、生徒が「自分ならどうするか」と考える軸になった。

12．成果と課題

新聞記事を活用したことで、実際に起きていることを身近に感じることができた。また、投稿記事の意見は、さらに生徒に、奉仕活動で社会の支え合いということについて身近に考えさせるきっかけとなった。